

試験研究（事後）評価整理表

試験研究機関名 ハイテクプラザ

所 管 課 産業創出課

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	3-2- 新しい産業の育成	ニーズ対応型研究開発事業	電解作用を用いたバリ取り技術の開発	バリを除去する時間を短縮するため、一工程で実施できる工具の開発と最適な加工条件を確立する。また、バリ取り要求が多い小径の交差穴についても工具の開発をし、加工条件を確立する。	次の項目について研究し、最適な加工条件を構築する。 1. 二工程によるバリ取り工程を一工程に削減する。 2. 小径交差穴のバリ取り加工条件を確立する。	19	19	A	電極工具の開発に成功しかつ、バリ取りの加工条件の確立にも成功し目的を十分達成したと考える。	電極工具の開発と加工条件の確立の研究目的が達成できたことは評価できる。今後は、研究成果が速やかに移転されることが望まれる。
2	3-3- 地域資源を生かした産業の振興	ニーズ対応型研究開発事業	新多様性清酒酵母の開発	近年、開発が盛んとなっている多様化する清酒に合うような新しい福島県オリジナル清酒酵母を開発する。	近年の全国新酒鑑評会で入賞できるレベルとして、カブロン酸エチル生成能が通常の吟醸造りで60g/L以上となり、酒質も整った吟醸用酵母を開発する。	17	19	B	高香気性吟醸用酵母は、醸造試験まで終了し、実用化の可能性が見えているが、低アルキール清酒用酵母及び発泡清酒用酵母は醸造試験がまだ残っているため。	福島県オリジナル清酒酵母の開発に向けて、高香気性吟醸用酵母の醸造試験までが終了し、実用化や普及の目処が立ったことから、本研究の成果は目的を概ね達成したと判断される。